



篠ノ井線廃線敷(安曇野市明科)



牛伏川階段工(松本市)

土木観光を考えるシンポジウム

信州の土木を訪ねよう

参加費無料

日時 平成28年 2月15日(月) 13:15~16:00

場所 長野市生涯学習センター Tel:026-233-8080

講演「土木観光への期待」

JTB総合研究所主席研究員 中根 裕氏

「地域資源観光に期待する」

長野県観光部長 吉澤 猛氏

「インフラツーリズムの取り組み」

関東地域づくり協会企画部次長 其田 誠氏

(元国交省長野国道事務所長)

事例発表(予定)と意見交換

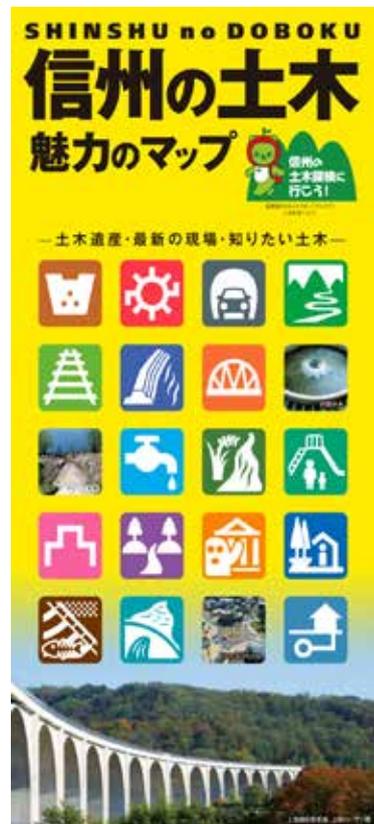
◇砂防ツアーのとりくみ (小谷村)

◇鉄道廃線敷の観光活用 (安曇野案内人倶楽部)

◇「土木のお宝づくり」の取り組み (長野県建設部)

◇近代遺産ツアーの試行(土木・環境しなの技術支援センター)

…意見交換(会場からも含め)



砂防ツアー(小谷村提供)

パネル展示

12時よりご覧
頂けます。

主催：土木・環境しなの技術支援センター
(理事長 小西純一信州大学名誉教授)



山清路(生坂村)



坂戸橋(中川村)



読書発電所(南木曾町)



大石沢目鏡橋
(東御市)



中部横断自動車道

会場案内図



▼交通案内
JR長野駅(御光寺口)から徒歩約10分

駐車場(図参照)有料。
乗り合わせや公共交通機関をご利用ください。

参加申し込みは、郵送またはメールで下記事務局までお願いします。
当日参加も可能です。

後援／長野県、国土交通省(長野国道事務所、千曲川河川事務所、松本砂防事務所、天竜川上流河川事務所、飯田国道事務所)、(一社)建設コンサルタンツ協会、(公社)土木学会中部支部、(公社)地すべり学会中部支部、(公社)日本技術士会長野県支部、(公財)長野県建設技術センター、(一社)長野県建設業協会、(一社)長野県測量設計業協会、長野県地質ボーリング業協会、(一社)関東地域づくり協会、(一社)北陸地域づくり協会、長野県カルチャーセンター(一社)信州・長野県観光協会、信濃毎日新聞社、SBC信越放送、新建新聞社、長野建設新聞(予定を含みます)

当シンポジウムは、(一社)建設コンサルタンツ協会によるCPDプログラムの申請を予定しています。

参加申し込みは、下記に記入の上、2月10日までに郵送されるか、メールでお願いします。当日参加もできます。

土木観光シンポジウム参加申込書

所属	氏名	備考
連絡担当者	氏名	
課	電話	
係	メール	

☆申込み 問い合わせ : 土木・環境しなの技術支援センター 事務局

メール : yama3417@mx2.avis.ne.jp Tel : 090-7175-5003

〒388-8011 長野市篠ノ井布施五明341-7 担当 山浦まで

土木観光を考えるシンポジウム

“信州の土木を訪ねよう”開催される！

日時 平成28年 2月15日(月) 13:15~16:15

場所 長野市生涯学習センター Tel:026-233-8080

参加者170人を超える！

シンポジウムには、観光を担当する県や市の担当者、JRやしなの鉄道などの県内観光関係者などが参加されました。また、土木建設関係の仕事に従事している皆様、テーマに興味を持たれた県民皆様など、大変幅広い分野から参加者がありました。



土木観光の目指す方向について講演される中根さん（㈱JTB総合研究所）



長野県の観光の取り組みを講演される 吉沢長野県観光部長



インフラツーリズムについて講演される其田さん



砂防ダムツアーの事例発表 小谷村栗田さん



土木観光への期待が高まっています

身近にある土木遺産、土木の様々な施設を観光や地域づくりに活かしていけるのではと各講師から提案され、小谷村、安曇野市などの事例発表が行われました。講師の皆様、参加の皆様 ご協力ありがとうございました。

講演	「土木観光への期待」	JTB総合研究所主席研究員	中根 昭氏
	「地域資源観光に期待する」	長野県観光部長	吉澤 猛氏
	「インフラツーリズムの取り組み」	関東地域づくり協会企画部長	其田 誠氏

事例発表と意見交換	(1) 砂防ダムツアーのとりくみ	小谷村産産推進室	栗田 孝氏
	(2) 舞ノ井線遊覧車の活用	安曇野市内人倶楽部	高根 伸幸氏
	(3) 「土木のお宝」の取り組み	長野県建設部技術管理室	矢花 久則氏
	(4) 近代遺産ツアーの快行	土木・環境しなの技術支援センター	赤井 静夫氏

土木・環境しなの技術支援センター（理事長 小西純一信大名誉教授）

土木・環境しなの技術支援センターは県下の研究者、技術者等で構成する非営利活動組織で、土木遺産の調査、官民の技術支援、技術相談、研修講師派遣などに取り組んでいます。<http://www.ne.jp/asahi/tac/shinano/>
(暫定版ニュースH28.2.16) TEL 090-7175-5003 メール yama3417@mx2.avis.ne.jp

※シンポジウムの資料、内容などの報告は後日 当センターのホームページに掲載します。